

| 第3回 多摩市再生エネルギー事業化検討委員会 議事録 | | 番号 | 議-003 |
|--|---|-----|---|
| | | 頁 | 1 / 3 |
| 議 題 | 1. 専門部会等の報告 ・12月1日シンポジウムの報告 ・ファイナンス専門部会報告 ・基本情報専門部会報告 ・技術専門部会報告 ・広報専門部会報告 | 日時 | 2012年 12月 21日(金) 18:15 ~ 20:00 |
| | 2. 事業実施に向けた環境整備報告 ・恵泉プロジェクト報告 ・その他、事業化に向けたプロジェクト状況 | 場所 | ベルブ永山 3階 講座室 |
| | | 出席者 | 星旦二、江川美穂子、山川陽一、須永修通、古屋将太、宗像慎太郎、戸辺文博、小池冬紀、藤田道夫、會田勝康、神山一(代理：斎藤)、高森郁哉、秋元孝雄、鈴木隆史、山川勇一郎、澤山弘、片桐徹也、林久美子、大木貞嗣、武内喜則 (順不同、敬称略) |
| 議 事 資 料 | <ul style="list-style-type: none"> ・12/1 報告会&シンポジウム報告資料【広報専門部会】 ・市民資金調達スキーム比較【ファイナンス専門部会】 ・多摩ニュータウン地域のソーラー発電についてのアンケート【基本情報専門部会】 ・検討事項その2 ソーラーパネル技術的な基本情報、第一号モデル事業設備の仕様と設置【技術専門部会】 ・ウェブコンテンツ制作概要、たまでんホームページ制作進捗状況(2012/12/21 現在)【広報専門部会】 | | |
| 議 事 内 容 (要 約) | | | |
| <p>1. 開会の挨拶、初めて参加した委員(藤田氏)、オブザーバ(古屋氏) 自己紹介</p> <p>2. 議事</p> <p>【12/1 シンポジウム報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当日の参加者：受付記帳者：106名(内エネ協会員：25名)、講演者及び招待者含め全体で約120名の参加があった。 ・参加者の意見：「詰め込み過ぎ」、「質問時間が欲しい」、「多摩エネ協と多摩電力の関係が不明」などの意見あり、今後の活動を通し情報提供をして行く。 <p>【ファイナンス専門部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画は、今年度実証テストプラントとして恵泉女学園で30kw 来年度運用開始、来年度は1,000kw 設備を考えている。これには資金が必要だが1kw/30万円とすると3億円が必要となる。当面の30kw分はスキームが決まらないので、ローカルに声を掛けた私募債で賄いたい。「匿名組合契約スキーム」3種と「金銭信託商品スキーム」について、各概要と比較説明があり、次回までにどのスキームにするか詰める予定。 <p>意見1：ウェブ上で広く一般から支援を受ける「クラウドファンディング」という方法もある。多摩信用金庫では、具体的な話をしてくれれば、個別に相談する。 → 後日、多摩信用金庫に何う事とする。</p> <p>意見2：資金を集める考え方には、リスクの高低により3つがある。(白板に図示)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エクイティー (Equity：出資金)：比較的风险が高い ・シニアローン (Senior Loan：銀行融資)：優先的に弁済される相対的にリスクの低いローン ・メザニン (Mezzanine：市民出資)：リスクは中間に位置し、他の債権に比べ返済順位が劣る <p>3つのパターンを組み合わせるやり方もある。</p> <p>意見3：民間金融機関や公庫からの融資があれば、個人の出資者も出しやすくなるので、幅広く検討すべき。</p> <p>→ 地域の事業として、市民と協同で作ることに意義があることを大切にして検討して行く。</p> | | | |
| ～ 次頁へ ～ | | | |

議事内容(要約)

～ 前頁より ～

【基本情報専門部会】

- ・多摩市にも窓口を作り、市内の自治会・管理組合に配るアンケート資料の説明あり、配布については、約200件を12月中に発送、回収期限は1月末か2月初旬とする。
今回は統計的な面だけでなく、関心の高い市民との繋がることも目的としている。

意見1：関心ある自治会などを見つけるための情報提供手段(スクリーニング)の意味を含め、事例なども追加した方が回答し易いと思われる。(東京都のマッチング事業パンフレットなど利用)

意見2：効果は判らないが、アンケートと並行してHPなどで「アンケート中！」などと訴求し雰囲気盛り上げる活動もして、動きも複数出て来れば前進になる。

→ 感心が広まるための情報提供にもなれば良い効果も出て来るので、今後は、アンケート結果での指摘などを踏まえて活動のブラッシュアップをして行く。

<多摩市の取組みについて>

- ・これまで小中学校に設置して来たが、今後の取組みについては検討中で、屋根貸しについては次回の会議までには方向性が出ていると思われるので、次回に報告したい。

意見1：我々は地域全体と言うのではなく、特に公共施設やニュータウンの屋根を先ず考えているので、次回に具体的な話ができる事を期待している。

意見2：我々は営利企業ではなく、地域への社会貢献を目的にしているので、市が方針を立てるプロセスで、一緒に検討させて欲しい。

【技術専門部会】

- ・ソーラーパネルの技術的検討と30kw設備の仕様と設置について資料にて報告。
19社65種類モジュールをカタログ性能で比較したが、市場の変化が速く、隠れた情報もあるので、多少現状に即してないので、具体的な検討を進めている。

<恵泉女学園の仕様(設置図面)>

- ・パネル受光素子：単結晶シリコン、セルサイズ：6インチ、セル配列：直列6×10、最大出力：250w
- ・パネルサイズ：縦1640mm×横990mm(合計120枚)
- ・パワーコンディショナー：10kw×3組

意見1：モジュールとパワーコンディショナーをセットで考えると、部分影などで相対的な効果が変わってくる事もある。最近ソフトで補正することも行われているので、シンポジウムで講演された西川先生(日本大学教授)に相談されると良いと思う。

【広告専門部会】

- ・多摩市循環型エネルギー協議会のHPに、本事業化検討協議会のコーナーを、年内に開設する予定。
遅れ気味だが、12月28日には公開する。多摩電力のHPも同じ日程で進めている。

意見1：アンケートにHPのURL情報も入れ、配った先の方だけでなく、興味を持った人たちが情報を取れるようにすると良い。

～ 次頁へ ～

議事内容(要約)

～ 前頁より ～

意見2：資金調達スキーム4の湖南省の例もあるように、資金集めにできるだけ多くの人に参加する方法も考えられる。

意見3：多摩電力は事業体なので直接資金を集めるのではなく、市民でもあるエネルギー協議会が集めた方が、よりスマートではないかと思う。

【恵泉プロジェクト】

- ・現在は内示で準備しているが、近いメンバーで資金を集め前述の設備を今年度中に着工までしたいと考え学校当局と進めている。12月1日のシンポジウムでアナウンスしたが、正式契約には至っておらず、12月の教授会で承認、1月に大学理事会で承認を頂く予定。予算総額：900万円消費税込み。

意見1：恵泉での実績を市民への啓発として、表示用装置などに行政機関から補助金は出ないか？
(東京都の補助は、住宅用なので補助金の対象にはならない)

意見2：現在の固定買取制度(FIT)は、今年度は42円/kwだが、来年度以降どうなるか不明。

意見3：パネル価格も下がっているので、コストが下がれば補助金も下がるのがFITの制度だが、導入目標に達したという判断が先に来るのではないかと思う。取り組みに対し支援は必要だが「収益事業になっているのに補助は必要か？」という話は当然出てくると思う。

意見4：市民出資の話したが、我々は3億円(1kw/30万円換算)を決めて集めるのではなく、年間を通して1,000kwを発電することを目標にしているが、あまり例がないのでぜひ相談に乗って欲しい。

意見5：近隣に半分以上ある賃貸住宅の屋根などへのアプローチについてアドバイスを頂きたい。

意見6：URでは、現在のところ賃貸住宅全体の方針はないので、どこから始めるかが難しい。
しかし、多摩ニュータウンは数がまとまっているので、地元の行政を巻き込むとモデルケースになって環境が醸成される可能性が高いと思う。窓口の部分で協力することはできる。

以上